

留 学 報 告 書

記入日:2020年2月27日

(所属学部／研究科・学科／専攻)	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University, Long Beach
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年1月5日
明治大学卒業予定年	2021年月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期: 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約3万人
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	6,600	726,000円	
宿舍費	4,500	495,000円	
食費		円	宿舍費に込み
図書費	240	26,000円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	190	17,000円	
現地交通費	600	66,000円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000	110,000円	
被服費	400	44,000円	
医療費	0	円	
保険費	500	55,000円	形態:
渡航旅費	2000	220,000円	
ビザ申請費	200	22,000円	
雑費	0	円	
その他		円	
その他		円	
合計	16,230	1,781,000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:ロサンゼルス空港 経由地: 復路 出発地:ジョンエフケネディ空港 目的地:成田空港 経由地:香港国際空港	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:デルタ航空 料金:約10万円 復路 航空会社:キャセイパシフィック航空 料金:約8万円 ∴合計:18万円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
ホームステイ会社を經由	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私はできるなら寮を選ぶのがいいと思います。ホームステイは一人部屋や清潔なシャワールームやトイレを使うことが出来ましたが寮の方が同世代の世界中からきている留学生や現地生徒と友達になれる機会があるのでとてもうらやましく思っていました。ホストファミリーやルームメイトによって全く環境が変わってくるのでどちらがいいと一概には言えませんが寮の方が英語を使う機会も多いのではないかと思います。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:現地の友人、親)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
どこの地域が危険であるかはホストマザーや現地の友達に聞きました。 特にありませんでした。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。	
日本からSIMカードを持って行きました。 学校内にはWi-Fiがありました。ホストマザーに家のWi-Fiに繋いでもらいました。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
現地のATMでも使えるキャッシュカード、デビットカード併用になっているものを日本で作り、持って行きました。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
総合風邪薬や胃薬など 現地の薬は成分が強いので日本製が安心です。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	
渡航前にクレジットカード支払い	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 現地生が優先される為必ずしも取りたい授業が取れるかわかりません	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elements Organizational Communication	組織論
科目設置学部・研究科	COMM
履修期間	1学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Selene Aguirre
授業内容	組織におけるコミュニケーションの重要性や組織論の様々な理論を学ぶ 現地の就職活動における必要なスキルの習得
試験・課題など	不定期でペーパーの課題、プレゼン、クイズ 期末試験はグループプレゼンテーション
感想を自由記入	この授業は毎回グループワークがあり現地生と一番関わりを持つことが出来た授業でした。現地の就職面接の練習やエレベーターピッチという短時間で自分を売り込むといったユニークなプレゼンも体験できました。ついていくのは大変でしたがやりがいがありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Hospitality Management	ホスピタリティマネジメント入門
科目設置学部・研究科	HFHM
履修期間	1学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Greg Moon
授業内容	ホテル、会議、カジノ、レストランなどのホスピタリティに関する産業の概要を学ぶ
試験・課題など	選択式と穴埋めの中間試験と期末試験 期末プレゼン 2週間に一度レポートの提出
感想を自由記入	教授がとても優しく、寛容な方でした。日本の食や文化の知識があり、大変気さくに声をかけていただきました。日本の自分の学部では学べないような内容だったのでとても面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Sociology	社会学
科目設置学部・研究科	SOC
履修期間	1学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Nathan Horn
授業内容	社会学における理論や宗教、人種、ジェンダー、家族、格差など様々な視点から社会の現状や問題点を学ぶ
試験・課題など	定期試験×4 期末レポート
感想を自由記入	多種多様な人種がいるアメリカで上記のようなトピックを学び、ほかの生徒の意見や考えを聞くことは自分の考えにも多大な影響をもたらしました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
<u>Gender, Race, Sex & Societies</u>	ジェンダー論
科目設置学部・研究科	WGSS
履修期間	1学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Rosie Kar
授業内容	アメリカにおける性犯罪やメディアが構築した女性の美意識などを映像資料や教科書をもとに学ぶ
試験・課題など	中間、期末試験(論述) 中間、期末レポート
感想を自由記入	この授業では映像資料を見ることが多く、字幕のないものは内容理解が大変でした。映像の中に日本のアイドル文化や二重瞼へのあこがれが描かれていて客観的に日本の文化を見ることが出来たのは面白かったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	8月～9月 IELTS 勉強
10月～12月	10月 IELTS 受験 11月 学内のIELTS講座 受講 12月 IELTS 受験
2019年 1月～3月	2月下旬 出願締め切り 3月上旬 選考の結果連絡
4月～7月	6月 VISA 取得
8月～9月	ツベルクリン検査 SIM カードの手配 滞在先確保 航空券購入 留学開始 (8月17日から)
10月～12月	10月中旬 中間テスト 12月期末テスト
2020年 1月～3月	1月 帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は将来、観光業に携わりたいと考えていたので、ホスピタリティの授業が開講されていた、この学校を選びました。教授も元ホテルマンでホテル業の裏側や世界の観光産業の現況などたくさんのことを学びました。また教授自身がとても素敵な方で、『人をもてなす、楽しませる』ということがどういことなのか教授のお人柄からも学ぶことが出来ました。また、実際にカリフォルニアは世界有数の観光地なので自分自身で有名な観光スポットにもたくさん行きました。ロングビーチはロサンゼルスに近く、休みの日などは気軽に遊びに行くことが出来、学業と遊びが両立しやすい環境だと思います。

留学生活はとても大変なことが多いです。特に慣れるまでの最初の2カ月は友達も少ないし、授業についていくのに精一杯で毎日疲れていた記憶があります。私はホストファミリーとのトラブルもあったので精神的に参ったことがありました。しかし受け身では何も生まれないということを実感しました。自分からアクションを起こし周りに働き抱えることの重要性を感じました。友達は皆とても優しく協力的で、困ったときに相談すれば必ず助けてくれました。

留学当初は現地の生徒と友達になることは難しいことであるなど感じていましたが日々の授業で積極的に話していたら仲良くなれることが出来、留学プログラム終了後は車でいるんな場所に連れて行ってもらい遊びました。一対一で遊びに行けるまでの語学力を身に着けられたことにも成長を感じました。

留学生活でとにかく大切なのは積極性だと思います。留学を志している方もすでに決まっている方も、常に積極的であることを心がけてください。充実した留学生活がおくれることを祈っています。